

ユネスコ事業への協力： ユネスコ地球規模の課題の解決のための科学事業信託基金拠出金

令和4年度予算額：41百万円（令和3年度予算額：40百万円）

事業概要・目的

世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念に貢献することで、我が国が国際社会において主導的役割を果たすために、アジア太平洋地域の科学分野を総括するユネスコ・ジャカルタ事務所及びユネスコ政府間海洋学委員会に対して信託基金を拠出し協力事業を実施する。特に、我が国の科学技術分野における豊富な知見・経験を生かし、ユネスコ科学事業推進を通じた地球規模課題解決への寄与及び持続可能な開発目標(SDGs)の達成への貢献を目的とし、人材育成・ネットワーキング事業等を実施する。

14 海の豊かさを
守ろう



「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」 推進プロジェクト



ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC) が主導的に実施している「国連海洋科学の10年(2021-2030)」が目標とする、海洋科学の推進により、持続可能な開発目標(SDG14「海の豊かさを守ろう」等)を達成するため、我が国が海洋立国として長らく貢献してきた科学技術分野の研究事業や人材育成等の成果を踏まえ、ユネスコにおける主要事業として掲げられている海洋科学分野において、我が国の豊富な知見・経験を有する分野・領域での、世界的な人材育成、多様なステークホルダーの拡大等に協力する。

<「国連海洋科学の10年」における課題と実施例>

○持続可能な開発のための解決策に貢献する能力開発の充実

海洋に関する知見及びデータの利用を向上し、海洋が直面する課題解決のための人材育成やそのためのネットワーク支援

○多様なステークホルダーの参画促進

若手研究者を含めた多様なステークホルダーを対象にしたプラットフォーム構築支援

○海洋科学の重要性に対する普及啓発

海洋リテラシーの推進や国連海洋科学の10年に関する普及啓発事業

ユネスコ科学事業間の連携を通じたプロジェクト



アジア太平洋地域におけるSDGsの推進に寄与するため、個別のユネスコ事業への協力にとどまらず、ユネスコ科学関係主要分野(防災、生物多様性、水分野等)における、アジア太平洋地域の域内政策形成、研究ネットワーク形成、能力開発・リーダー育成等の事業の実施を通じ、包括的なSDGs推進プロジェクトに協力する。

○政策形成等支援

効果的なSDGs推進のための科学事業間連携の促進主導
・ステークホルダー会合開催→パイロットプロジェクトの実施→ICTを活用した科学プログラムの普及

【実施例】地域固有資源の持続可能な利用に資する科学的知識の創出

⇒河川データを基にした防災対策事例集の作成

○ネットワーク形成

生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)や水科学専門家によるアジア太平洋地域年次会合の開催

○能力開発・リーダー育成

気候変動、生物多様性、防災などといった地球規模課題に関する研修・ワークショップ等の開催(科学的知見を持つ実務者の育成)

期待される効果

- 多様なステークホルダーによる能力開発・研究者ネットワーク形成が強化されることにより、我が国の科学技術分野での国際社会におけるプレゼンスの向上とともに、重要課題に関する知識・対応ノウハウが普及し、地球規模課題の解決及びSDGs達成が促進される。
- ユネスコの政策形成やプロジェクト企画・実施において、我が国の専門家とともに協力・支援し、若手研究者も巻き込んで参画することで、我が国の国際協力に関する能力開発にも寄与。